

Zone A テーマ：子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ

～主体的な学びのプロセスを問い直す～

Zone Aでは「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」をテーマとして掲げ、子どもの学びのプロセスを大切にしながら、子どもたちの遊びや生活、学習、そして大人たちが学び合っていく活動を展開していくことについて考えてきました。「主体的・対話的で深い学び」と同時に「チーム学校」「こどもまんなか社会」「co-agency」といったことが提起されてきたように、今、子どもたちが主体的に学びを深めていくために、学校や園、そして、地域で支えていくことが求められています。

前回のシンポジウムでは、小学校の先生の実践から、「お祭り」を題材に、子どもの意識の流れに合わせながら単元展開を更新していく教師の在り方、授業の在り方に学びました。また、高校の先生の実践から、生徒の学習意欲がより高まるような学習問題や、主体的に学習に取り組む態度を生徒が蓄積した記述を元にどのように評価していくのかについて、校内の教師で探究、検討してきたプロセスに学びました。

このシンポジウム後半のグループ討議では、複数のグループで、「問い」をどのように子どもと保育者や教師が立ち上げていくのかが話題となっていました。子どもたちの主体的な学びを支える上で、「問い」が立ち上がる場面の在り方は、大切なポイントとなってくると考えました。また、その「問い」について探究していくプロセスを、保育者や教師がどのように支えていくのかも話題となっていました。

今回のシンポジウムでは、保育所と中学校から話題提供をいただきます。いずれもテーマは「食」です。保育所で、子どもたちが毎日食べている給食からどのように問いが立ち上がり、「食」に関わる探究を子どもと保育者が深めていったのか。また中学校で、どのように「食」に関する問いが立ち上がり、総合的な学習の時間の活動と理科の学習を関わらせながら、探究を深めていったのか、そのプロセスをお話いただきます。「主体的な学び」のプロセスを、参加者の皆様と一緒に探っていきたいと思います。

☆ハイブリッド開催

Connection	14：25-14：40	オンライン接続
Orientation	14：40-15：00	オリエンテーションと自己紹介

【Session I】

テーマ 「子どもの主体的な学びを支えるコミュニティ」
～主体的な学びのプロセスを問いなおす～

<話題提供>

15：00-15：20	亀岡市かめおか乳幼児教育センター	所長	中井佐栄子
15：20-15：40	福井大学教育学部附属義務教育学校	教諭	佐々木庸介
	コーディネーター：福井大学教職大学院		岸野麻衣

<全体討議> 15：40-16：10

私たちは、「主体的な学び」を子どもとの相互作用を通してどのように組織していくことができるのか、話題提供をふまえて皆様と共に探っていきます。

<休憩> 16：10-16：20

【Session II】 16：20-17：40 Cross-session

Session I の議論に基づき、参加者それぞれの学校づくりの長い実践を共有し、新たな出会いと協働を編み込んでいきます。校種等をクロスした小グループ形式での対話を編み込み、実践をデザインし、展望を生み出します。